

2022

11

November
No. 357

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



美坂高原の星空

ふと星空を眺めたいときありませんか？そんな時は「美坂高原」がおすすめです。周辺に人工的な照明がないため、光害が少なく、満天の星空を肉眼で見ることができます。草原に寝ころびながらの天体観測。贅沢なひと時を過ごせます。(紹介P4)

主な内容

秋の工人まつり	2～3
スターウォッチングツアー in 美坂高原	4
まちの話題	5
町民記者	6～7
	など



▲ 工人まつり会場入口

10月15日と16日の2日間、生活工芸館周辺において、『秋の工人まつり』が開催されました。例年6月に開催していた「ふるさと会津工人まつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、3年にわたり途切れていた工人同士の交流や作り手と使い手の交流を再び繋ぎ直し、また、10月1日に全線運転が再開となった只見線への誘客の一助となるよう、ウィズコロナ時代の奥会津地域の活性化を目指すために、規模を小さくして開催することとなりました。

作り手と使う手の架け橋

只見線全線運転再開記念

秋の工人まつり

作る人の手から使う人の手へ



▲ 台湾の工芸品が並ぶお店

ものづくり文化の交流

町は、生活工芸が盛んな台湾と友好交流協定を結んでいます。今回開催するにあたり、台湾工芸交流事業の一環として、台湾の関係各所から工芸品を取り寄せ、工人まつりに出店していただき、逆に、町からも台湾へ工芸品を送り、台湾のイベントで出品させていただきました。開会式では、王淑芳台北駐日経済文化代表処台湾文化センター長より、「台湾と日本の工芸交流が実現されたこと大変うれしく思います。出品されている工芸品を見て、台湾と日本の伝

統と格式を感じながら工芸の可能性を知ることができる大変興味深いイベントだと思いました」と挨拶をいただきました。町と台湾は、今後も交流事業を通して、ものづくりの発展と活性化に向けて一緒に取り組んでいきます。



▲ 台湾関係者と町関係者の皆さん（開会式）
（王文化センター長は左より3番目）

ウィズコロナでの開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策として、例年より少ない約100店舗の出店に限らせていただき、ご来場のお客様には、お名前や住所などを事前にご登録いただく対策を施

しました。そんな中でも、2日間で約5千人のお客様にご来場いただき、懐かしい賑わいを見せていました。お客様アンケートには、『3年振りの開催おめでとう！』『たくさんのおいしい作品に出会うことができました』『出店者の皆さん、スタッフの対応が素晴らしい』などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。人口約1400人の小さな町で、町一丸となって取り組む年に一度の大きなイベントです。このような時代だからこそ、ここ三島町で『ものづくり文化』と交流の楽しさを堪能していただければ幸いです。



▲ お買物されてシャトルバスに乗り込むお客様

ゴールを目指して一直線!

三島保育所運動会

10月1日に三島保育所園庭で三島保育所運動会が行われ、幼児たちは、かけっこやつなひき、ダンス等に元気いっぱいに取り組みました。応援に訪れた保護者の皆さんからは温かい声援が送られ、笑顔いっぱいの運動会となりました。



町民センター1階ロビーに桐の本棚、ゆめぼけつとに桐のテーブルを設置

福島県森林環境交付金事業を活用

福島県森林環境税を活用した県産材の利活用を推進するため、公共施設等備品の整備を実施しており、今年度は町民センター1階ロビーに会津桐製の本棚を、ゆめぼけつとにテーブルを設置しました。ロビーの本棚は、町民センターの入口の近くに、イスとテーブルを設置してあるため、以前より気軽に読書や雑誌を読めるようになりました。また、ゆめぼけつとは、平日の午後から夕方まで放課後児童クラブの児童が利用しており、テーブルで集中して自習や読書に取り組むことができます。児童だけでなく町民の皆さんもぜひご利用ください。



▲ 町民センター1階ロビー



▲ 町民センター1階ゆめぼけつと

+★ 美しい星空と優しい自分に出会える夜 ★+

スターウォッチングツアー in 美坂高原

+★ 2022/10/1 ★+



①美坂高原マルシェ：美味しいグルメや工芸品などが出店②星空ヨガヒーリングナビゲーター saki 先生による星空ヨガ：星座にちなんだヨガを紹介③国立天文台天文情報センター上席教授 渡部潤一先生による講演会と天体観測会：星の解説やお月見の由来など説明

※8月に開催された様子は広報みしま9月号をご覧ください。

美坂高原の新たな価値を

町直営となり、維持管理されてきた美坂高原。その美坂高原の新たな魅力を発見し、その価値を多くの方に知ってもらうため、今年度より有志による美坂高原利活用イベント実行委員会が立ち上がり、積極的に活動しています。

美坂高原は光害レベル3（※）とされ、たくさんの星々を肉眼で見ることができそうです。その「星空」を地域資源として生かすべく、町内出身者の方から提案を受け、実行委員会が運営主体となって、県サポート事業を活用したイベント「スターウォッチングツアー in 美坂高原」を8月と10月の2回に分けて開催し、夏の星空と秋の星空を多くの参加者に堪能していただきました。

真つ暗で静かな美坂高原で、星々の光に照らされながら天体観測はいかがでしょうか。

※光害：良好な照明環境の形成が、漏れ光によって阻害されている状況又はそれによる悪影響のことをいう。レベル3は天の川が見えはじめる暗さのこと。



**三島小「田んぼの学校」の脱穀作業
～おいしいお米がいっぱいできたよ～ (10月17日)**

小島 純 (宮下)

三島小学校3～6年生 23名の児童たちが、宮下活性化センターで自分たちで収穫したお米の脱穀作業を行いました。栗城隆彦さんの指導や地区役員、びおたんクラブの役員の方々の協力により、足踏み式の「脱穀機」や「千歯こき」など昔ながらの道具を使って脱穀に汗を流しました。児童たちからは、「去年はうまくできなかったけど今年はできたと思う」「来年も楽しみ」との声が聞こえました。お米は「おばあちゃんの味」で五目ご飯などに調理され、みんなで収穫を祝う予定です。



農道舗装してより快適に！ (10月17日～19日)

本名 与四郎 (西方)

農業生産環境整備事業の一環として、3日間かけて農道舗装工事が行われました。平日ではありませんでしたが、今回は、沼田地内農道舗装を地区役員と地区民によって守っていきこうと力を貸してください、区長の青木喜章さんをはじめとする10名の皆さんで、本来の目的を達成することができました。路盤整備や舗装工事は、舗装材料が固まらないうちに作業を進める必要があるため、昼食時間を過ぎた午後2時頃に、お昼となっていました。曇り空や雨の降る中、お疲れ様でした。

「地区の道 俺がやらなきゃ 誰がやる」



地区民に心と体をリフレッシュ！ (10月20日)

本名 与四郎 (西方)

コロナの影響により中止していた「お楽しみ会」が森の校舎カタクリのロビーにおいて、今月から再開されました。地区支援員の高橋慎介さんが、企画、運営の中心となって、西方地区の皆さんに呼びかけ、23名もの地区民が会に集まりました。

第一部では、県内などのイベントでも昔話の語り部として活動している、五十嵐七重さんをお呼びし、三島町や金山町に伝わる昔話を五つ話していただきました。地区民は現実を忘れ、昔話の世界へ引き込まれながらも、心がほっこりとしている様子でした。

第二部では、初の「ビンゴだ！ボードゲーム」に挑戦しました。参加された皆さんは、さまざまな数字が並べられているボードにランドゴルフのスティックを使って、縦、横、斜めのいずれでも一列にボールが入るようにと、子どもに戻って楽しんでいるようでした。

「薬より 笑いに勝る 宝なし」



二百十日のおこもり

佐久間 絹江 (滝原)

立春から数えて、二百十日は9月1日となります。この時期は、数多く台風がやってきて、収穫をひかえた農作物に甚大な被害をもたらします。滝原地区では、毎年被害に合わないよう、神々への感謝と祈りを込めて、前日の8月31日に『おこもり』を行っています。少子高齢化となった現在でも、生活の一環として大事な行事となっています。今年度は収まったかと思えたコロナが勢力を増してきて、感染拡大が心配されたので、神社役員と地区役員代表のみで『おこもり』を執り行いました。例大祭は、15日ですが、平日のため11日に神社境内及び周辺の清掃を行い、秋祭りと呼び、清掃後に各自参拝しました。



コスモスが風に揺れています

佐久間 絹江 (滝原)

地区の方々の手入れにより、背丈以上に伸び、花を咲かせ始めたコスモス！台風の影響や風の強く吹く滝原の名に負けじと傾きながらも色とりどりの花を咲かせています。地区入り口、待避所側は控えめに咲いていました。



桧原駅にて全線再開祝う (10月1日)

佐々木 邦雄 (桧原)

10月1日に一部区間不通が続いていた只見線が11年2か月ぶりに全線再開されました。途中、列車のトラブル発生のため、約2時間30分遅れで桧原駅を通過しました。桧原地区の住民がお祝いムードを盛り上げようと、大人や子どもも含め25名が参加し、「おかえり」と手旗を作って旗や手を振り、只見線全線の運転再開を心より歓迎し散会しました。赤字路線のため、今後の課題として地元並びに全国や海外からの観光誘客等のさらなる利活用を心より願っています。



そばの花でいっぱいの景観づくり～みんなでそば刈り作業～ (10月3日)

小島 純 (宮下)

「そばの花でいっぱいの景観づくり運動」を推進している宮下地区とみやした蕎麦と豆腐の会では、宮下地区や荒屋敷地区、有志の応援協力者の皆さんの参加を得て、町内の2箇所のそば畑で刈り取り作業を行いました。秋晴れの下、約20名が参加し、気持ちのいい汗を流しながら作業を終えた後、蕎麦と豆腐の会から手打ちそばが振舞われ、美味しいそばを食べながら疲れを癒しました。なお、収穫祭は11～12月に開催される予定です。



「緑黄色野菜」食べていますか？

vol.73 **健康で元気な毎日！**
町民課保健福祉係 ☎48-5565

野菜には淡色野菜と緑黄色野菜があります。

夏は畑で作ったトマトやピーマン、オクラなどを収穫し、豊富に食べることができた**緑黄色野菜**。三島町では、冬は大根や白菜などの淡色野菜はよく食べるけど、「畑で収穫できないから緑黄色野菜をあまり食べていない」というお話をよく聞きます。

緑黄色野菜は“ビタミンA”“ビタミンC”“ビタミンE”という栄養素を豊富に含みます。これらは、たんぱく質（卵、乳製品、肉、魚、大豆製品）を血管に作り変えるために必要な栄養素です。動脈硬化を防ぐためにも、意識して緑黄色野菜を摂り入れましょう！

血管内皮細胞の材料

血管内皮細胞・・・太い血管・目に見えない毛細血管 全ての血管にある



内皮細胞の役割
・伸び縮みして血液量や血圧を一定にする
・動脈硬化を防ぐ
・血が固まらないように調節する

血液には酸素がいつも流れている3%は活性酸素になる

③血管内皮細胞の酸化を防ぐために必要

- ①血管の材料になる
- ②たんぱく質を血管に作り変えるのに必要

1日の目安量	たんぱく質		
	必須アミノ酸	非必須アミノ酸	
卵	50g	3.2mg	3mg
牛乳	200g	3.3mg	3.3mg
魚（鮭）	50g	5.8mg	5.4mg
肉（豚もも）	50g	5.1mg	5.2mg

1日の目安量 (g)	ビタミンA	ビタミンB	ビタミンE	
緑黄色野菜 (人参、ほうれん草)	150	710	37	2.3
淡色野菜 (大根、キャベツ)	250	3	48	0.3

※アミノ酸は食品からしかとれない

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



ライオンのおやつ

著：小川 糸

人生の最後に食べたいおやつは何ですか—食べて、生きて、この世から旅立つ。すべての人にいつか訪れることをあたたかく描き出す、今が愛おしくなる物語。

●図書の紹介



はじめての子ども手話

監修：谷 千春



心の中がグチャグチャで捨てられないあなたへ

著：ブルックス・パーマー



生き方 人間として一番大切なこと

著：稲盛 和夫

地域おこし協力隊 活動誌

美坂高原の星空

山本 敬晴

秋の深まりを感じる時期となり、紅葉も見頃を迎えつつある今日この頃、私の所属する地域政策課にも旅行者からの観光に関するお問合せも増えていきます。特に「紅葉シーズンの第一只見川橋梁を見たい！」とのお問合せが多く、人間が生み出した構造物と大自然が織り出す絶景は、町の大きな観光資源の一つであることを改めて実感させられます。

さて、町の観光資源と云えば、「美坂高原」もその一つです。今年から「美坂高原利活用イベント実行委員会」が立ち上がり、8月15日と10月1日には、天文学者で有名な渡部潤一先生（会津若松市出身）を講師としてお招きした天体観測イベント「スターウォッチングツアー」が開催されました。私も実行委員として加わり、色々と勉強させて



▲天体望遠鏡を覗き込む子どもたち

頂いています。特に美坂高原の星空は、素晴らしい観光資源となる可能性を感じました。渡部潤一先生のお話では、ここ奥会津は首都圏との距離が近いながらも夜空の光害が少ない地域で、国内有数の星空スポットであること。また、この星空を維持するよう取り組みや町づくりを行ってほしいとお話されていました。自然環境を保護しつつ地域の経済価値を高めていくという点では、私の活動とも繋がりますし、渡部先生がお墨付きの「星空」に係わる活動も今後続けていきたいと思っています。

工芸館だより⑱ くものづくりの伝承

焼き上がりました！

手びねりの陶器づくり



色が出る透明釉薬を使っています。カタチや重さなど、なかなか売りのようにはいきませんが、自分で作った器は愛着もひとしおかと思っています。工芸館には、陶芸室があり、ろくろやガス窯が設置されています。今後、ご自身でつくったものを生活に取り入れてもらう企画を行ってまいりますので注目をお願いいたします。

町民アカデミー講座で作成していただいた陶器が10月に焼き上がりしました。制作自体は夏に行ったものですが、そこから①乾燥、②素焼き、③釉薬かけ、④本焼きの工程を経て作者のもとへお渡ししました。今回は乾燥後の「釉薬かけ」もみなさんと実施しました。釉薬は陶器の周りに付けて焼くとガラス質に変化し陶器を守ってくれるものです。緑や黄色などいろいろな種類がありますが、工芸館では粘土そのままの



- ①制作の様子
- ②乾燥中
- ③本焼き前



☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

思い込みその3 【親世代、残す人】 「自分の思いはわかってきているはず」

「遺言など残さなくても子供達が何とかしてくれるはず」、「今自分が決めなくても、子どもたちがしっかり考えてくれるはず」とお考えの方、いらっしやいませんか？

一般的にこのように考える傾向があるかと思いますが、残された子世代は、「親の気持ちがわからないため、決断ができない」という現実に直面しがちです。

子世代の現実

子世代はすでに別の場所に持ち家があり、実家を相続しても使う予定はなく、管理もしきれないので、「手放そう」と考える人が多くいます。そして、売却に向け手続きを進めるのですが、いざ売却が現実的になってくると、はたと「これでいいのか？」と立ち止まり、今は亡き人に思いをめぐらせます。考えても答えは出ず、かといって気持ちがもやもやしたままでは、手放す決心ができません。「一旦やめよう。」「当面はこのままにしておこう。」と直前で売却を取りやめることとなります。このように、「親の気持ちがわからない」という壁がたちはだかることで、空き家の利活用が止まってしまうことはよくあることのようにです。



～空き家あるある！～
空き家に関する思い込みの実際について、お伝えしていきます。



では、どうしたらいいの？ 【親世代、残す人】

親世代が子世代に、**空き家になる前に行く末を明確に伝える**しか、解決策はありません。「なんとなくの雰囲気で行く末を伝える」は通用しません。まずは、正直な気持ちを親世代から子世代へ伝えてください。親世代の気持ちがわかることで、たとえ意向に沿えなくとも、子世代は親世代の意向を踏まえて決断することができます。

意向を伝える方法としては、遺言やエンディングノートというものがあるかと思いますが、しかし、「遺言は色々な決まりごとが多い。」「重々しい雰囲気がして手が付けられない。」という方も多いのではないのでしょうか？また、エンディングノートも、記入する項目が多く、始めてみたものの最後まで書き通せないということを耳にします。最近では、空き家や住まいに特化したエンディングノートがインターネット上にありますので、活用してみるのも一つかもしれません。

そして何より、**日ごろからご家族で「我が家の行く末」について話すのが一番です。**これから年末年始に向けて、ご家族が集まる機会も増えると思いますので、ぜひこういった機会に、ご家族で話し合っただけでいいのでしょうか？

「我が家の行く末」は、誰にでもいつかは訪れるテーマです。同世代、同じような立場の人たちと和気あいあいとおしゃべりしながら、気持ちの整理をするのもいいかもしれません。

色々な切り口から、家にまつわる思い出や歴史などもお話しできるといいのかもしれない。

- 誰が建てたのか？
- 築何年か？
- 屋号や家紋
- リフォーム歴
- お気に入りの場所やこだわりポイント
- 思い出の数々
- この家での恒例行事 などなど

◆ 空き家に関して、お気軽にお問い合わせください ◆
地域政策課 地域政策係 ☎ (48) 5533

町史編さん室だより

第82回

「三島村」の誕生

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、
交流センター山びこへご連絡ください。
☎(52)2165

三島町役場に遺された日誌には昭和二十九年（一九五四）十二月一日から町村合併に関する促進協議会や地区説明会、懇談会の記事が確認できます。当初は宮下村、西方村だけでなく西山村（後に柳津町と合併）も含めた三ヶ村合併で協議していましたが、後に宮下村・西方村の二ヶ村合併とすることが決まります。今回は「三島村」となった経緯を昭和三十年の『合村関係記録』に綴られた議事録から確認します。

綴を読むと、「三島村」と決定したのは五月十一日に宮下村役場の会議室で行われた「合併についての起草委員会」においてのことです。

宮下村・西方村の村長や議員によって構成された委員会は午前十時四十五分に開会、会長である宮下村長の挨拶後、協議事項の第一案となる新村名の選定について協議されることになりました。西方側委員より「村名については旧村名を用いないことを条件とするこ

と」が強調され、宮下側はこれに対し同意せず、午前中ではまとまらず、昼食後に持ち越されることとなります。

午後一時に再開されると、表にあるような村名が挙げられました。が、まとまることなく、「西方側は意見が一致しているので、宮下の側で諮ってみてはどうか」という意見により、宮下側が村長室で諮り、結果、先に挙げた村名の三つや四つを合併協議会に出してはどうかと提案がなされました。一方、西方側からはあらためて「旧村名を用いないということを入れなくては駄目だ」との意見があり、一時退席する委員もいました。宮下側はついに西方側の主張を受け入れ、旧村名を用いないで新村名を選ぶことについて協議することにし、西方側からも旧村名を用いないのなら、宮下側が選んだ新村名については異議を申し立てないことを言明します。

午後三時、ついに「三島村」とすることが決定されます。残る協

議事項については問題なく進み、午後四時三十五分に閉会となりました。

起草委員会における協議結果により作成された「宮下村西方村合併協議書案」をもとに、五月十六日、合併協議会が開催されます。新村建設方針や新村名、新役場を旧宮下村役場に設置することの他、職員や議会、教育委員会その他各団体、税の不均一課税等についての事項があらためて協議され、その多くが後に協議書どおりに実現することになります。協議書案においては新村名について「町村制施行以来お互い独立した自治体として発展途上にある両村の合併であるので心気一新旧村名に拘る事なく新しい村名を求めた」ところ「三島村」に決定したとまとめられています。

七月二十日、三島村が誕生し、新村役場開庁式が本庁（旧宮下村役場）で挙行されました。合併祝賀式は翌三十一年四月八日、宮下小学校講堂において挙行されてい

「合併についての起草委員会」において挙げられた村名候補

村名候補	
宮下西方村	中会津村
宮西村	御蔵入村
西の宮村	会川村
三坂村	桐里村
三島村	川中村

(議事録記載順)

ます。旧西方村役場には西方支所が設けられましたが（三十年七月二十二日に開所式）、三十三年五月一日に廃止となりました。前日となる四月三十日の三島村議会第一回臨時会の議案として「西方支所廃止に関する件」が議事にかかっており、一名の議員が反対で退場しましたが、賛成多数で廃止が議決されました。議事録には議長という言葉として「合併とは申せ西方支所の廃止については旧西方の有志各位と区民の協力に議会に於ても敬意を表し決定いたしました」とあります。

(三島町史編さん室)



三島町のみなさまこんにちは。環境研だよりではひとりひとりができる脱炭素行動として「ゼロカーボンアクション30」をご紹介します。今回は衣服に関する項目にあたる「サステナブルなファッションを！」の項目についてお話ししていきます。

「サステナブル (Sustainable)」には「持続可能な」という意味があり、アクションの項目には「今持っている服を長く大切に着る」「長く着られる服をじっくり選ぶ」といった、洋服を長く着続けられるような行動や、商品の選び方ことを紹介しています。環境省のHPを見てみると「SUSTAINABLE FASHION」という持続可能なファッションについて特集しているページがあります。(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/index.html)

ここでは「ファッションと環境の現状」という項目で、洋服が作られてから廃棄されるまでの流れや、衣服に使われている素材、原材料の調達から製造段階までに排出される環境負荷の総量、捨てられた後の服の行方、といった洋服が作られて、ゴミになるまでに環境にどのような負荷がかかっているか、ライフサイクルアセスメント (LCA) という考え方を元に、イラストを交えてわかりやすく説明しています。

日本で販売されている洋服を作る際に、1年間で排出される環境負荷を詳しく見てみると、原材料の調達から製造段階でCO₂排出量は約90,000kt (キロトン)、水の消費量は約83億m³排出されているとあります。

数字が大きすぎてなかなかピンと来ませんが、服1着あたりに換算するとCO₂排出量は500mlのペットボトルが約255本製造できるほどで、水の消費量は浴槽が約11杯分いっぱいになるほど。多くの洋服が店頭と並ぶまでに様々な資源が必要で、かつ環境負荷をかけているということですね。

また洋服を手放す際、みなさんはどんな別れ方をしていますでしょうか？

大きく分けると古着として譲渡・売却する、資源として回収してもらう、可燃ごみ等として廃棄する、

の三つの方法が挙げられますが、現状ではゴミとして廃棄される割合が68%を占めています。そうして焼却・埋め立て処分される洋服の量は年間で48万トンにも上るそうです。



※画像1

平均すると1日あたり大型トラック130台分の服が処分されている。(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

衣服の供給量を減らすことができれば生産時に排出される環境負荷を減らすことができます。流行のシーズンが終わったら処分する、というようなことはせず1着を長く着続けることで購入する服も減り、また廃棄削減にもつながります。

他にも古くなった服を修繕して長く使ったり、着なくなった服をリユースしたりと、個人個人が持続可能なファッションへの意識を高め、身近なことから実行することで環境への負荷を減らすことができますので、今回の記事を参考に試してみたいでしょうか。

〈筆者〉常盤 達彦 (ときわ たつひこ)

先日オリオン座流星群が出現して話題になっていました。当日、自分は見れませんでした。前日に流れ星を1回だけ見ました。この歳になっても流れ星を見るときはしゃいでしまいますね。

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

以前、「みんなでエコチャレンジ」について掲載しましたが、そもそも自身の家庭での二酸化炭素 (CO₂) 排出量がよく分からない方も多いはず。そこでお勧めしたいツールが、環境省で行っている「うちエコ診断」です。

この「うちエコ診断」は、家庭からのCO₂排出量を見える化し、ライフスタイルに合った具体的なかつ効果的な温暖化対策を提案するもので、以下の2つが利用できます。

- ・家庭の温暖化対策の専門家「うちエコ診断士」が効果的なアドバイスをする対面診断
- ・ご自身で簡単に自己診断できる「うちエコ診断WEBサービス」

今回は、気軽に実施しやすい、後者の「**うちエコ診断WEBサービス**」についてお話ししたいと思います。

◆ まずは、「うちエコ診断」にアクセス！

以下のURLもしくは「うちエコ診断」でWEB検索して、ページにアクセスします。

○うちエコ診断 WEB サービス

<https://webapp.uchieco-shindan.jp/>



◆ 診断時間は最短 5分程度

お住まいの地域、月々の電気料金やガソリン代など、簡単な質問に数回答えるだけで年間のCO₂排出量が推計されます。さらに、質問に答えていくとライフスタイルに合った温暖化対策の提案や削減効果が分かります。

◆ 筆者も診断してみました！！

試しに筆者も当サイトから診断してみました。(診断結果が右の図になります。)

現在の年CO₂排出量が「2,014kg(推計)」で、同一構成の100世帯(単身)で言うと「18位」となり、さらに、自分が行う対策を講じることで、CO₂排出量が「5.9%」削減され、順位も「14位」となりました。

現在でもCO₂排出量を結構抑制していると思いますし、自動車を使っていない世帯なども含まれているので、田舎暮らしでこの順位であれば上々ではないでしょうか。ご自身の大体のCO₂排出量が手軽に分かるので、興味のある方は是非とも利用していただければと思います。

◆ もっとしっかりと診断されたい場合

さらに具体的に取り組みたい方は、「うちエコ診断士」との対面診断をご利用してみたいでしょうか。以下のサイトから「うちエコ診断」の受診申込ができますので、ご検討ください。

○家庭エコ診断制度ポータルサイト

<https://www.uchieco-shindan.jp/>



▲ 質問画面

うーん、微妙…笑



▲ 筆者の診断画面

【 地域おこし協力隊 やまもとたかはる 山本敬晴 】

三島町教育委員会よりお知らせ

新教育委員に10月1日付けで、若林豪さん(中平)が再任され、矢澤町長より任命書が交付されました。任期は4年間となります。



町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(9月分)

ふるさと納税

計 18 件 218,000 円

11月分納税のご案内

【納期限 11月30日(水)】

- ▼ 国民健康保険税(第4期)
- ▼ 介護保険料(普通徴収)(第4期)
- ▼ 後期高齢者保険料(普通徴収)(第4期)

忘れずに納付ください。

町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

若林 勇雄 様 (98才・滝谷)
渡部 クニイ 様 (94才・大石田)

町の人口と世帯(10月1日現在)

人口	1,420	増減数	-4	出生	0
男	715		-2	死亡	4
女	705		-2	転入	1
世帯	700		-2	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン 11月7日(月) 午前10時から 大石田集会所	間方いきいきクラブ 11月18日(金) 午前10時から 間方集会所
高清水・小山いきいきサロン 11月8日(火) 社会見学	サロンないり 11月21日(月) 午前10時から 名入集会所
桧原はつらつクラブ 11月11日(金) 午前10時から 桧原集会所	滝谷和楽塾 11月24日(木) 午前10時から 滝谷集会所
ひまわりサロン 11月14日(月) 午前10時から 町民センター	ほがらかサロン 11月25日(金) 午前10時から 森の校舎カタクリ
大登サロン 11月15日(火) 午後1時30分から 大登生活改善センター	浅岐あつたかサロン 12月2日(金) 午前10時から 浅岐集会所
川井友愛サロン 11月16日(水) 午前10時から 川井集会所	

※新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合もございますので、ご了承ください。

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

若林 真人 様 (滝谷)
渡部 廣視 様 (大石田)

社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島通
信で健康教室を放送中です。

11月のテーマは「脳卒中を予防
しよう」です。

ぜひご覧ください。



福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

宮下病院からのお知らせ

感染対策室からのお知らせ

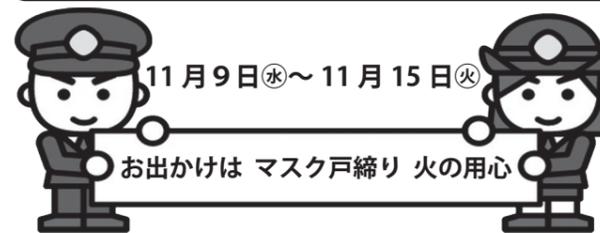
宮下病院 感染対策室

新型コロナウイルス感染症は、皆さんの感染対策の頑張りをよそに、感染者はなかなか減りません。ある雑誌で保健所が把握した患者の感染場所が報告されていました。家庭が38%、飲食店が34%、職場が12%であり、特に初発症例では飲食店が54%、明らかな濃厚接触者のないエアロゾル感染が疑われる症例もあったとの報告です。ウィズコロナの時代になり、外食や人と会う機会は増えていますが、この報告から食事の時も会話の際にはマスクを着用する気遣いが必要ながわがわかります。食べたら、マスク、飲んだら、マスクです。ウイルスが変異しても、基本的な感染対策は変わりません。コロナと上手に付き合いながら、感染を過度に恐れず、自分の楽しみも作っていきましょう。

参考図書：INFECTION CONTROL 9月号

消防署からのお知らせ

令和4年 秋季全国火災予防運動



住宅防火 いのちを守る 10のポイント
- 4つの習慣・6つの対策 -

- 4つの習慣 —
- 1 寝たばこは絶対しない
 - 2 ストープの周りに物を置かない
 - 3 火元(ガスこんろ等)から離れない
 - 4 コンセントのほこりを掃除する
- 6つの対策 —
- 1 安全装置が付いたストーブやこんろを使用
 - 2 住宅用火災警報器を定期的に点検
 - 3 寝具、衣類及びカーテンは防火品を使用
 - 4 消火器を設置し、使い方を確認
 - 5 避難経路と避難方法の確保
 - 6 防災訓練や戸別訪問による地域ぐるみの防火対策

会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

増えてます。自転車泥棒。

会津坂下警察署管内では、昨年と比べて、今年自転車盗まれる被害が多発しています。主な発生場所は、駅の駐輪場で、無施錠の自転車が狙われる傾向にあります。自分の自転車を守るためにも、駐輪して自転車から離れる際には、2つの鍵を掛けるツールドロックを心がけましょう！

暗くなってからの外出にはご注意ください

冬が近づいてきたこともあり、だんだんと暗くなる時間が早くなってきました。県内では、夕方の時間帯における人身事故が増加しています。外出の際には、明るい色の服の着用や、夜光反射材を活用するなどして交通事故に遭わないようにしましょう。また、ご家庭に高齢の方がいる場合には、なるべく日中に用事を済ませ、暗くなってからは外出しないように声をかけましょう。

会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

自衛官採用試験のお知らせ

募集種目	一般曹候補生
応募資格	日本国籍を有する18歳以上33歳未満の者 ※32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者
募集期間	令和4年12月1日(土)まで
試験科目	1次：筆記試験及び適性試験 2次：口述試験及び身体試験
試験日程	1次：令和4年12月11日(日) 2次：令和5年1月7日(土)～15日(日)
合格発表	1次：令和4年12月23日(金) 最終：令和5年1月26日(水)
入隊時期	令和5年3月下旬～4月上旬 ※上記の他に設定する場合があります。

応募先/問合せ 自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪57-1
☎ 0242 (27) 6724

法務局よりお知らせ

自筆証書遺言書保管制度に関する説明会

自筆証書遺言書保管制度について、以下の日程で説明会を開催いたします。参加無料ですので、是非ご参加ください。

日時 令和4年11月25日(金) / 12月23日(金)
令和5年1月24日(土) / 2月20日(日)
いずれも午前10時から1時間程度

申込方法 福島地方法務局供託課へ電話で申込み

福島地方法務局供託課 ☎ 024 (534) 1971

祝 JR 只見線 全線運転再開



新潟・福島豪雨から11年。10月1日にJR只見線が全線運転を再開しました。当日は、特別記念列車が走り、町内沿線付近では、地元住民が旗や手を振ってお祝いし、宮下駅ホームでは、三島神楽保存会による三島神楽が披露され、乗客を喜ばせました。

只見線全線再開通 記念写真展

10月1日に只見線全線が再開通したことを記念し、同月8日から30日まで、星賢孝さんとその仲間たちによる「只見線全線再開通記念写真展」が交流センター山びこにおいて開催されました。星賢孝さん外30名の鉄道愛好家による写真、そして色鉛筆画家の大竹恵子さん、鉄道風景画家の松本忠さんの絵画が展示され、来場者の好評を博しました。22日には星賢孝さん、そしてその仲間たちを代表して大藪琢也さんの兩名によるギャラリートークが行われ、30名近い来場者の前で、1枚1枚の写真にまつわるエピソードが語られました。

町長日記

（線路は続くよ、どこまでも）

10月1日に、JR只見線が11年振りに全線で運転が再開されました。

沿線住民は歓喜の声に包まれましたが、多くの課題も残っているのが現実であります。その歓喜の裏には、葛藤する心や挑戦する心、そして沿線地域のプライドが透けて見えるのが感じ取られます。

沿線市町村は「全国有数の秘境路線」を売りに、また県は「日本一の地方創生路線」を掲げながら、只見線全体の利活用を図るため隣県とも連携して、おもてなし強化に取り組み、発信する力をいかに発揮しました。

秋田県と青森県を結ぶ「海の五能線」に対して「山の只見線」を合い言葉に地域

活性化の仕組みを構築するには、観光路線を核としながらも単なる観光以上の価値を生み出していく地域域の力が必要であると考えます。

ボールは、我々、沿線市町村にあります。コロナ禍の社会にあり、インバウンドも含めて、川と森と自然、そして生活空間を創ることが、只見線にかような道であると確信しています。時代のベクトルは奥会津にあります。

三島町長 矢澤 源成

